

東中野山小学校の魅力に迫る！

たくさんの魅力がある太陽の広場

この学校には、太陽の広場という大きな広場があります。太陽の広場にはたくさんの遊具があり、子ども達が休み時間に走ったり遊んだりしています。遊具の種類は、ジャングルジムや鉄棒などです。そして、ここは木などがたくさん植えられており、緑がたくさんです。ここ最近では50Sの活躍で池が綺麗になりました。50Sとは、6年生だけの50周年記念ボランティアグループです。

太陽の広場には池が二つあり、一つはコイがいてもう一つの池にはかつてメダカがいました。しかし、外来種であるウシガエルのオタマジャクシにより池が占領されてしまいました。そこで50Sが池の水を抜き、オタマジャクシを取り除きました。池が綺麗になったことでより一層太陽の広場が素敵な場所となりました。

情報委員会六年生



学びの部屋の魅力

学びの部屋には、たくさんの遊び道具があります。けん玉や将棋など誰もがみんな楽しめそうなものもありますが、何よりも、地域の人と一緒に工作ができます。季節に合わせて、紙で作った木や綿で作った雪だるまなど、かわいらしいものがたくさんあります。地域の人みんなのために頑張ってくれていて、とても素敵な場所です。

学びの部屋のいいところは、地域の人々が優しくしてくれて、わからないことがあっても教えてくれるところです。前、地域の人々が学校で教えてくれたりするのは、「学校が楽しいから。」と仰っていました。とても多くの人々が学びの部屋に来るのに、数人で対応できるのは本当にすごいなと、思いました。だから、地域の人たちは学校で優しくしてくれたりしてくれるんだなと思いました。



情報委員会六年生

学びの森の魅力

この学校には、学びの森とよばれる森があります。春から夏にかけて、2年生が生活科で野菜を育て、夏には青々とした若葉が生い茂ります。そして、春には満開の桜が6年生を見送り、一年生を出迎えます。ボランティアの人たちが、紙芝居を読んだり、秋には休み時間に子どもたちがどんぐりなどの木の実を拾いにきます。

毎日にぎやかな太陽の広場とは違い、緑がたくさんあり、癒しの場所です。小鳥や虫たちがたくさんいて学校の中の小さな自然の世界です。

学びの森にはたくさんの自然と癒しの時間があります。この学校の自慢の森です。

情報委員会六年生

